

熱中症の早期警戒のお願い (神奈川県労働局健康課)

- 近年、神奈川県内で労働者の方が熱中症で亡くなる災害が多発しています。
- 職場における熱中症の死亡災害の多くは6月中に発生しています。初夏は気温の変動が大きく、熱への体の順応も不十分です。職場では早めに警戒してください。
- 職場にはWBGTの測定器(湿球黒球温度計)を設置し、WBGT値による作業管理を徹底しましょう。
- 夏は、暑くなくても作業中は水分と塩分を十分補給してください。十分な休憩を取ることも大切です。
- 体に変調を感じたら、又は変調を訴える人が出たら、すぐに医師の診断を受けましょう。熱中症が疑われたら、氷で体を冷やし、躊躇せず救急車を呼びましょう。一人にしないことも大切です。

参考

厚生労働省ホームページ

厚生労働省：労働者の安全と健康の確保：職場における労働衛生対策

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei02.html>

<http://www.jaish.gr.jp/information/nettyushou.pdf>